



平成30年11月

夕日が沈むのが日に日に早くなり、木枯らしの吹く季節となりました。市立病院リハビリ庭園のくろがねもちの木の実も段々と赤みを帯びてきました。ハナミズキの葉もすっかり紅葉して、赤く熟してきた実がかわいらしく、つい目を惹かれます。

インフルエンザに注意！！

インフルエンザが流行する季節になりました。厚生省全国罹患状況では、鳥取県は他県に比べるとまだ流行はしていませんが、油断大敵！子どもさんにこんな症状が見られたら、気をつけてください。

- 突然、高熱が出て全身の倦怠感・筋肉や関節の痛みがあります。咽頭痛・せき・くしゃみ・鼻水・嘔吐・下痢・腹痛などの症状が出ます。
- 2～3日で熱は下がっても、全身症状は一週間くらい続きます。

今、県内で流行している病気

手足口病・ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱・溶連菌などが流行しています。鳥取県感染症情報センターのホームページなどを利用して流行情報をチェックしてみましょう。また、体温がいつもより高かったり、元気がない、食欲がないなど、お子さんがいつもと違う様子であれば気を付けましょう。

インフルエンザの予防

インフルエンザの潜伏期間は1～2日、感染経路は飛沫感染や接触感染です。飛沫や接触を防ぐために手洗いやうがいが必要です。その他に、インフルエンザへの感染や重症化の予防としてワクチン接種があります。接種してから抗体がつくまで2週間程度はかかるとされています。流行する前の11月中には接種を済ませておくといいですね。

にじっこルームを利用している子どもに人気のある遊びに、「紙ボールころがし」があります。10個程の手作りの紙ボールを「スタート・オン！」と言って斜面上から転がし、「コロコロ」と転がり落ちていく様子を見て楽しんでいます。紙ボールをミニカーに変えると、斜面を勢いよく滑っていく光景は、ミニジェットコースターさながらです。

ボールころがし



予防接種を受けましょう

予防接種とは、感染症の原因になるウイルスや細菌などをもとにワクチンを作り、このワクチンを体内に接種することによって、その病気に対する免疫を作ることをいいます。予防接種によって免疫を作ることにより、その病気にかからない、あるいは、かかっても軽症で済むなどの効果が得られます。3歳までに受けておいたほうが良い予防接種の病気は、乳幼児が自然に感染すると重症になりやすく、命にかかわる場合もあるので、予防接種を受けて、感染症を防ぎましょう。

〔問い合わせ〕

鳥取市児童健康支援センター、病後児保育施設「にじっこルーム」
鳥取市的場一丁目1番地 鳥取市立病院内 (Tel) 0857-37-1577



ママさん
にじっこ
♡